

第3次牧之原市食育推進計画に係る パブリックコメントの結果について

(健康推進部 健康推進課)

1 実施の概要

第3次牧之原市食育推進計画において、市民の皆さんの幅広い参加の機会を確保するため、令和元年12月20日(金)から令和2年1月19日(日)を募集期間としてパブリックコメント(意見募集)を実施しました。

2 結果

実施期間において、5名の方から6件の御意見をいただきました。
御意見の概要と内訳は、下表のとおりです。

項目	内容	件数
健康につながる食生活を送る	食の環境整備について ヘルシーメニュー推進事業について ローリングストック法を活用した食育の推進について 高齢者の食支援について 高齢者への牧之原市食育ランチョンマットの活用について	5件
地域の産物がわかり食卓に並べる	SNS等を活用した食育の情報発信について	1件

3 意見への回答

(1) 回答内容

- ・提出いただいた貴重な御意見への回答については、別記「第3次牧之原市食育推進計画(案)についての御意見御質問への回答」のとおりです。
- ・具体的な事業への御意見やアイデアに係るものは、事業を実施する際に参考とします。

第3次牧之原市食育推進計画（案）についての御意見御質問への回答

No.	項目	御意見・御質問	回答（市の考え方）
1	健康につながる食生活を送る	<p>食の環境整備について</p> <p>食の社会環境整備という言葉が分かりにくいですが、食育ではよく使う用語ですか。</p> <p>また、どんなことを指すのか教えてください。</p>	<p>用語については、国や県の食育推進計画では「食の環境整備」という言葉を使用しています。御意見を参考にし、市でもこれに合わせ「食の環境整備」に変更し、解説を入れながら分かりやすく明記します。</p> <p>「食の環境整備」とは食育を推進するための体制づくりのことです。現在、牧之原市では、ヘルシーメニュー推進事業等を、飲食店や小売店などと連携し、買い物や外食など通じて、健康になる仕組みづくりを進めていきます。今後は、引き続き協力店舗を増やしていきます。</p>
2		<p>ヘルシーメニュー推進事業について</p> <p>今回の食育推進計画の中でヘルシーメニュー推進事業に力を入れていくことが分かりました。買い物や外食をすることで健康になる環境が整っていくのはいいことだと思います。協力店が増えていくといいですね。</p> <p>ヘルシーメニューの推進が行政の取組に含まれていませんが、書かれていてもよいのではないのでしょうか。</p>	<p>食育基本方針 2 健康につながる食生活を送る 共通 部分には記載がありますが、御意見のとおり、行政の取組にも、「ヘルシーメニュー協力店を増やし、減塩、野菜を1皿増やすためのメニューなど、市民の実践につながる、食や健康に関する情報を入手しやすい環境を整備して行きます。」という一文を加え取り組んでいきます。</p>
3		<p>ローリングストック法を活用した食育の推進について</p> <p>ローリングストック法を進めることで防災の備蓄の推進にもなり、食品の賞味期限を確認することで食品ロス削減にもつながります。食育は幅広い分野に関わってくるため、食に関連する団体が協力し合い食育を推進することで、さまざまな課題を解決していくことに繋がって行くと思われました。</p>	<p>ローリングストック法とは、日常使う食材や非常用食料を定期的に消費し、消費した分を買い足し備蓄していく方法です。これにより、家庭での効率の良い備蓄に繋がります。また、御意見の通り、食品の賞味期限を確認することは食品ロス削減に繋がります。</p> <p>今後も食に関わる団体と連携を深め、市民に食品の賞味期限を確認することの必要性やローリングストック法の普及啓発に努めて、効果的に食育を進めていきます。</p>

No.		御意見・御質問	回答（市の考え方）
4	健康につながる食生活を送る	<p>高齢者への食支援について 独居や高齢者世帯が増え、地域の食資源の情報提供が求められていると思います。 ぜひ、取り組んでいただきたいです。 情報が高齢者に行き渡るには、どのような方法で提供しますか。</p>	<p>現在も課内で配食事業者の一覧等を作成し情報提供をしています が、今後は、地域の高齢者に関わる医療、福祉の専門職が連携、情報共有し、様々な機会を通じて、地域の食支援（移動販売や宅配食等）の情報を提供していきます。</p>
5		<p>高齢者への食支援について たんぱく質摂取不足の高齢者が多いと感じています。高齢者にもわかりやすいように、牧之原市食育ランチオンマットの活用を希望します。</p>	<p>今後は、さらに高齢者のサロンやシニアクラブ等の地域の健康講座等で牧之原市食育ランチオンマットの活用を進めていきます。そこで、フレイル予防として、たんぱく質摂取の大切さとバランスよく食べることの大切さを普及啓発していきます。</p>
6	地域の産物がわかり食卓に並べる	<p>SNS等を活用した食育の情報発信について 「SNS等を活用して地元産のお茶やお茶の効能について発信します。」と書いてありますが、お茶以外にも牧之原市でとれる野菜などの地場産物についての情報も発信していただきたいです。</p>	<p>関係課と連携し、まきはぐ総合サイトや市のホームページ、フェイスブック等を活用し、おいしいお茶の淹れ方や効能だけでなく、野菜等の地場産物の紹介や購入場所、レシピ紹介等、食育の情報発信にも努めていきます。</p>